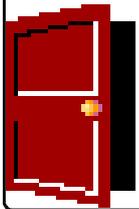


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No.57

桑村小学校令和5年10月20日 文責 渡邊

雪をかぶった富士の山、とても美しく、素敵です!!

10月16日(月)の朝、いつものように校舎の窓開けをしていたら富士の山に雪がかぶさっている風景を見ることができました。そのとても美しい景色に、大きな幸せを感じました。今朝は、朝の活動の時間帯に、全校児童で運動会の練習を行いました。「あっ、富士山が見える。」とある男の子が大きな声を上げました。きっと私と同じように、雪をかぶった富士の山に感動し、声を上げてしまったのかもしれない。

富士山に見守られながら、学校生活を送る本校の子供たちはとても幸せですね。

このとき、井上靖先生が著した大好きな詩を思い出しました。

地球上でいちばんきよらかな広場

北に向かって整列すると、遠くに富士が見える
廻れ右すると天城が見える

富士は父、天城は母
父と母が見ている校庭でボールを投げる

誰よりも高く、美しく、真直ぐに、天にまで届けと
ボールを投げる

この詩は、旧湯ヶ島小学校の校庭にある詩碑で初めて私は知りました。その時の感動を今でも覚えています。

故郷は、わたしたちにとってかけがえのない場所です。父や母も同様であり、故郷の自然を父や母に形容する見事さ。そうした愛するべき全てのものに囲まれて育つ幸せを、本校の子供たちと職員に感じて欲しいと強く願います。

「あっ、富士山が見える」と声を上げた子供の姿に、豊かな感性が育まれていることを強く感じ、とても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

桑村小学校は、とても素敵な学習環境にあります。こうした自然の恵みを美しく素敵なことだと思い、更には感謝する思いを抱く桑っ子に育ってもらいたいものだと思っております。

今回で読書通信『学校活動への扉を開く』は、57号の発行となりました。これは昨年度の発行した号数と同じ数です。その記念すべき号に桑村小学校のすばらしい学習環境が載せられたことをとても幸せに思います。



【校舎から見えた富士山】



【本校児童と富士山①】



【本校児童と富士山②】



【本校児童と富士山③】